

追加調査項目（案）

- 高度医療の提供実績
 - ・ 高度先進医療の承認件数
 - ・ 高度先進医療の実施件数
 - ・ 高度先進医療の申請中件数
 - ・ 臓器移植手術の実施件数
 - ・ 治験契約件数
 - ・ 治験実施件数
 - ・ 治験完全実施率
 - ・ 専任の治験担当職員の配置による治験管理センター設置の有無

- 教育研修機能
 - ・ 指導医の数
 - ・ 5年以上の経験を有する医師の数
 - ・ 専門医・認定医の数
 - ・ 研修医の受け入れ数
 - ・ ピアレビュー制度の有無
 - ・ 外部のコメディカルの研修受け入れ人数

- 地域医療との連携状況
 - ・ 地域医療連携室の設置状況
 - ・ 一般外来・特殊外来別患者数
 - ・ 初診患者の数、再診患者の数（のべ）
 - ・ 文書により紹介された初診患者の数
 - ・ 時間外・休日または深夜に受診した6歳未満の患者（初診・再診別）
 - ・ 診療情報提供料を算定した患者数
 - ・ 24時間診療受付体制の有無
 - ・ 救急用の自動車で搬送された初診患者の数

- 医療の質に関する取り組み
 - ・ 院内委員会の設置状況
 - ・ クリニカルパスの数と適用数
 - ・ 日本医療機能評価機構による医療機能評価の認定
 - ・ 患者満足度調査などの独自調査の実施状況

DPCの影響評価に関する調査項目及び評価の視点（修正案）

調査項目（案）	評価の視点	把握の可否	結果表
<p>(診断群分類の妥当性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 診断群分類の該当率 ○ 診断群分類の構成割合 ○ アウトライヤーの状況 ○ 包括範囲点数及び在院日数のばらつき ○ DPC 変更率、変更理由 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 包括評価制度の導入前後を比較して、類似の DPC で1日当たり点数が高く、かつ、在院日数の基準日が長い群へのシフトがないか。 ○ 包括評価制度の導入前後を比較して、診断群分類点数表による請求額と医科点数表に基づく出来高算定との差額が大きい診断群分類に該当する患者の割合が低下していないか。(ばらつきの多い診断群分類の該当率が低下し、ばらつきの小さい診断群分類の該当率が増加していないか。) ○ 包括評価制度の導入前後を比較して、同一疾患群における出来高算定と包括算定の割合が変化していないか。 ○ 高齢者などのハイリスク患者の率が低下していないか。 ○ 包括評価制度の導入前後を比較して、特定入院期間を超える率や出来高点数と包括点数の乖離が一定以上の率が変化していないか。 ○ ばらつきの原因として、年齢、重症度、看護必要度などの患者特性、地域特性（後方病院の整備状況等、他医療機関との連携状況）、病院の管理体制（退院基準の設定状況）が影響していないか。(小規模な聞き取り調査の実施とその結果を受けた大規模調査を検討。) ○ 合併症の増加による DPC の変更が増加していないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ ○ — △ — — 	<p>診断群分類別件数（平成14年・平成15年）</p> <p>(同上)</p> <p>(同上)</p> <p>別途、「ハイリスク患者」の定義について検討が必要</p> <p>別途、アウトライヤーの定義について検討が必要</p> <p>別途、ばらつきの原因に関する小規模な聞き取り調査の実施とその結果を受けた大規模調査の実施が必要</p> <p>別途、DPC 変更理由に関する調査が必要</p>

把握の可否：現在実施している診断群分類見直しのための調査で把握できる場合に「○」、一部把握可能な場合に「△」、別途調査が必要な場合に「—」を記載

調査項目 (案)	評価の視点	把握の可否	結果表
<ul style="list-style-type: none"> ○ 薬剤等の使用状況 ○ 検査等の実施状況 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 包括評価制度の導入前後を比較して、薬剤、医療材料の使用状況が変化していないか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 包括評価制度の導入前後を比較して、γグロブリン製剤、制吐剤、ステロイド剤等の使用状況が変化していないか。 ・ 包括評価制度の導入前後を比較して、高額な抗がん剤の使用状況が変化していないか。 ・ 適応外使用の状況がどうなっているか。 ・ 後発医薬品の採用状況がどうなっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> △ — — — — 	<ul style="list-style-type: none"> 現在データを整理中 別途、調査対象薬剤の絞込みが必要 (同上) (同上) (同上)
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 包括評価制度の導入前後を比較して、検査等の実施状況が変化していないか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 包括評価制度の導入前後を比較して、画像診断、病理組織検査、時間を要する高度な検査の実施状況が変化していないか。 ・ 包括評価制度の導入前後を比較して、外来にうつせるような、他医療機関で実施できるような検査、投薬の実施状況が変化していないか。(特定の診断群分類について評価することを検討。) 	<ul style="list-style-type: none"> △ — — 	<ul style="list-style-type: none"> 現在データを整理中 別途、調査対象技術の絞込みが必要 (同上)
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 包括評価制度の導入前後を比較して、中心静脈注射による高カロリー輸液療法の実施状況が変化していないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 	<ul style="list-style-type: none"> 別途、評価の視点についての検討が必要
	<ul style="list-style-type: none"> ○ ハイリスク患者、または重症例の過小診療が行われていないか。合併症、併存症に対する治療が適切に行われているか。転科して治療を行う率が低下していないか。 	<ul style="list-style-type: none"> — 	<ul style="list-style-type: none"> 別途、ハイリスク患者に関する定義の検討が必要
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 手術等の出来高となっている診療行為の実施状況が変化していないか。 	<ul style="list-style-type: none"> △ 	<ul style="list-style-type: none"> 現在データを整理中

把握の可否：現在実施している診断群分類見直しのための調査で把握できる場合に「○」、一部把握可能な場合に「△」、別途調査が必要な場合に「—」を記載

調査項目 (案)	評価の視点	把握の可否	結果表
○ 医療の達成度、患者満足度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主治医の入院目的の達成度が変化していないか。 ○ D P C 毎の退院基準の設定状況がどうなっているか。 ○ 患者満足度が変化していないか。 	<ul style="list-style-type: none"> — — — 	別途、アンケート調査の実施が必要
○ アウトカム評価、臨床指標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 手術の成功率、外科手術における再手術率、救急外来受診率、5年生存率が変化していないか。 (本項目については、現時点では評価のためのデータの収集が困難ではないかとの意見があった。) ○ 化学療法などが外来にシフトしたことによって、患者の QOL などが変化していないか。 	<ul style="list-style-type: none"> — — 	別途、調査が必要
○ 看護の必要度	○ 看護の必要度が変化していないか。(既存のデータの活用も検討。)	—	別途、調査が必要

把握の可否：現在実施している診断群分類見直しのための調査で把握できる場合に「○」、一部把握可能な場合に「△」、別途調査が必要な場合に「—」を記載

調査項目 (案)	評価の視点	把握の可否	結果表
<p>(医療機関の機能の変化)</p> <p>○ 高度医療の提供実績</p> <p>○ 教育研修機能</p> <p>○ 地域医療との連携状況</p> <p>○ 医療の質に関する取り組み</p> <p>○ 医療の提供体制</p>	<p>○ 高度先進医療、臓器移植、治験の種類と数に変化していないか。</p> <p>○ 新医療技術の導入が阻害されていないか。包括評価導入後薬価基準に新たに追加された薬剤の使用が阻害されていないか。</p> <p>○ 教育研修機能に変化していないか。</p> <p>○ 地域医療との連携状況の違いに地域特性が影響していないか。</p> <p>○ 院内委員会の設置状況はどうか。</p> <p>○ クリニカルパスの数と適用数はどう変化するか。</p> <p>○ 組織、マンパワーに変化していないか。</p> <p>○ 看護師比率などが変化していないか。(在院日数が短くなった医療機関を重点的に調査することを検討)</p>	<p>—</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>△</p>	<p>別途、医療機関の機能に関するアンケート調査の実施が必要。</p> <p>(同上)</p> <p>(同上)</p> <p>(同上)</p> <p>(同上)</p> <p>(同上)</p> <p>(同上)</p> <p>定例報告(平成14年・平成15年) ※現在データ収集</p>

把握の可否：現在実施している診断群分類見直しのための調査で把握できる場合に「○」、一部把握可能な場合に「△」、別途調査が必要な場合に「—」を記載